

私たち民生委員児童委員は 近所の優しく気さくな相談役です

109人の民生委員児童委員と12人の主任児童委員、合わせて121人の民生委員児童委員は、何でも相談できる地域の相談役として活動しています。気軽に声を掛けていただき、私たちからも声を掛けることが活動の第一歩です。しかし、私たちは全てが分かるわけではありません。適切な相談機関へつなぐ役割もしております。

今年12月1日に3年に1度の一斉改選を迎えるに当たり、民生委員児童委員についてご紹介します。今回、登場するのは、経験28年のベテランから1期目の新人委員・主任児童委員まで4人の委員です。インタビュアーから私たち民生委員児童委員の活動、役割、地域への思いなど、少しでもご理解いただけたらと思います。

地域住民と協力し、「自分のできるときに、できることを、できるだけする」という気持ちで、私たちと地域で安心に暮らす日々を作り上げていきましょう。



府中市民生委員児童委員協議会
会長

泉月利夫さん

特集1 地域の味方！ 民生委員児童委員

地域を知り
自分も成長した3年間

坂永 主任児童委員は、乳児や妊婦のいる家庭を訪問したり、保育所・学校と民生委員児童委員のパイプ役として活動しています。

佐々木 3年間の活動で、保育所や学校とも相談し合える関係ができました。

坂永 やると決めたら3年間は手を抜かず活動しようと思いましたが、中学校の校門に7時から立って挨拶もしましたが、最近では立ち止まって挨拶を返してくれたり、生徒会と一緒に挨拶活動をしてくれるようになりました。小さいけど、大切な活動なんですよ。

佐々木 将来、子どもたちが私たちの活動を覚えてくれていて、あの町なら帰りたいと思ってくれたら、ひそかに思っています。

坂永 私たちの時代と比べ、情報があふれていて、人間関係が希薄になっていくのかな。家庭内での挨拶もしない人が多いように感じます。それを解消するためには、

コミュニケーションスキルなどの活用も必要だと思います。

佐々木 連絡を受けて、すぐに動く場合や見守る場合もありました。関係者みんなに対応していか



上下地区主任児童委員 (上下地区全域)
坂永弥生さん 佐々木真里子さん

ないといけないと思いますね。

坂永 地域の民生委員児童委員から、私たち主任児童委員の活動で連携がスムーズになったと言われるときは、やって良かったと思われました。自分の年の取り方や地域での立ち位置など考えさせられることも多く、研修や会議も本当に勉強になりました。

佐々木 子どもが卒業すると学校とは疎遠になりがちですが、地域の子どもの活動や成長に関わるのは、すごく楽しいことです。

坂永・佐々木 ぜひ多くの人に経験してもらいたいですね。必ず無駄にはならないと思います。

できることを、できるだけ
やっていきたいと思えます

私が民生委員児童委員になって2年が経ちました。私は定年後も仕事を続けていますが、それでも民生委員児童委員の活動ができていくのは、職場の理解と家族の理解があるからだと思っています。

主な活動は、土日に一人暮らしの人を中心に家庭訪問をすることです。高齢者の方とお話をすることが多いので、様々な話を聞かせていただき勉強にもなります。

相談を受けた場合は、同僚や先輩とも話をして相談機関を紹介するなど、つなぐ役割をしています。最初は気が張っていたけど、研修の時に肩の荷が下りるような言葉掛けていただき、ゆっくりでもできるだけさせてもらおうという考えに変わりました。研修では毎回、多くの方の話を聞き、それでいいんだという発見があるんですよ。

今まで縁がなかった福祉という分野の勉強も必要でしたが、新たな関わり合いができ、社会福祉協議会ともつながりができました。



府中北地区民生委員児童委員
徳尾秀樹さん (鶴飼町)

ない」という人や、言いたい放題言ってしまう人が、少しずつ増えてきているのではと感じることで、これから団塊の世代の人たちが高齢者になって、今よりお年寄りの数が増えていくときに、民生委員児童委員は、町の中核をなして町を見守っていくようになっていくはずなんです。何かあった時に遠くにいる子どもが、すぐ駆けつけることはできませんが、地域には民生委員児童委員がいます。悩みや不安、なんでも話してください。

地域の皆さんには、新たに民生委員児童委員になった人を温かく見ていただきたいと思います。そしてできれば民生委員児童委員になって、地域のために活動してほしいと願っています。

年をとっていくにつれて、何かあったら隣三軒に頼るしかない

私は民生委員児童委員になったのは、28年前のことです。

民生委員児童委員は、「あなたの役に立ちたい」と分かってもらわなくては、地域の人に受け入れてもらえません。そのためは、目線を下げることです。健康に生活する、支援金がなくても生活できるなど、その人のことを考える。偉くもなんとも無いもので、ただ地域の人のために動き、住みやすい町にすること、それが民生委員児童委員の役割だと思っています。

何か問題が起こったときは、すぐ相談機関や地区会長、町内会長のところへ行つて、一緒に対応することもできます。

民生委員児童委員になった人にいつも言っていることは、ぜひ1期の3年で辞めるのではなく、3期やってくださいと伝えていきます。なぜ3期かという、3年では次の人に「福祉とはこういうものだ」と説明できるほど分かっていないと思うからです。

最近気になるのは、「他人がどうなろうと私は知ら



府中西地区民生委員児童委員
持井忠之さん (飛屋町)